

藻場と保全の取り組み (No. 24)

藻場の名称	柳井市 伊保庄地先・阿月地先		
海域(府県)名*1	伊予灘(山口県)	エリア名*1	
藻場の面積	ha 出典:【 ()】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他()		
藻場の特徴	柳井湾の奥部に位置し、稚仔魚の育成場として機能している。沖合域では日本三大潮流の一つと言われる大島瀬戸が位置しており、柳井周辺はマダイの好漁場ともなっている。		
保全の取り組み名称	アマモの移植、播種		
実施団体名	柳井藻場保全グループ		
連絡先住所	〒742-1352 山口県柳井市伊保庄 622 番地 1		
代表者名	酒井 章	Email	fukutoku64@gmail.com
団体会員数	28名	HP	なし
(活動の概要) 当該海域でのアマモ場が著しく衰退していることから、アマモの移植及び播種を行うことで、アマモ場の回復と機能の維持を図る。			
(主な活動内容) 種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携 その他()			
(最近の活動実績) 平成29年6月23日:柳井市立柳井南中学校生徒を対象にアマモ場の生物観察、花枝採取を実施 平成29年7月12日、21日:アマモ種の採取作業 平成29年12月:アマモ種の播種作業(予定)			
			

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

関連する生物種等	は希少種
○野鳥:	
○藻場の生き物:メバル、ハオコゼ、ヨウジウオ、アミメハギ、タナゴが優占 その他、クサフグ、ヨロイメバル、アイナメ、アサヒアナハゼ、ヒイラギ、 キュウセン、ギンボ、テナガスジエビ、タイワンガザミ、ガザミ、イシガニ、 その他カニ類、イカ類、ホソモエビ、コシアガリモエビ、その他エビ類2種。 エビジャコ類、ヒトデ類、ヨコエビ類、ワレカラ、アオリイカ、ウミウシ アメフラシ(卵塊)	
○海藻(海草):	
○植物:	
希少種の特徴等	
「調査していない」	

藻場と保全の取り組み (No. 25)

藻場の名称	国東漁場		
海域(府県)名*1	伊予灘(大分県)	エリア名*1	
藻場の面積	2.5ha 出典:【国東地区水産環境整備事業 実績台帳】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 <u>その他</u> (不明)		
藻場の特徴	調査を実施していないため不明		
保全の取り組み名称	藻場の造成		
実施団体名	大分県農林水産部水産振興課		
連絡先住所	〒870-8501 大分県大分市大手町 3-1-1		
代表者名	安原 翔太	Email	Yasuhara-shiyota@pref.oita.lg.jp
団体会員数	14名	HP	https://www.pref.oita.jp
(活動の概要)	<p>海域及びこれに接続する陸地において、有用水産物の発生及び生育に適した環境を整備するために着底基質の設置(投石、コンクリートブロック等の設置)や餌料培養機能を備えた構造物の設置などを行っています。</p>		
(主な活動内容)	<p>種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携 <u>その他</u>(着底基質(石材)の沈設)</p>		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施年度:平成24年度～平成25年度 ・対象漁業種類:釣り、刺網、はえ縄 ・対象魚種:メバル ・造成面積:平成24年度 17,640㎡、平成25年度 7,360㎡ <p>※写真: H25年度の投石で使用した石材</p>		
			

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年～30年) 参照

関連する生物種等	は希少種
<p>○野鳥: 未調査 ○藻場の生き物: メバル ○海藻(海草): 未調査 ○植物: 未調査</p>	
希少種の特徴等	
未調査のため不明	

藻場と保全の取り組み (No. 26)

藻場の名称	亀川漁場		
海域(府県)名*1	伊予灘(大分県)	エリア名*1	
藻場の面積	1.5ha 出典:【別府湾地区水産環境整備事業 実績台帳】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他 (不明)		
藻場の特徴	調査を実施していないため不明		
保全の取り組み名称	水産環境整備事業		
実施団体名	大分県農林水産部水産振興課		
連絡先住所	〒870-8501 大分県大分市大手町 3-1-1		
代表者名	安原 翔太	Email	Yasuhara-shiyota@pref.oita.lg.jp
団体会員数	14名	HP	https://www.pref.oita.jp
(活動の概要)	<p>海底及びこれに接続する陸地において、有用水産物の発生及び生育に適した環境を整備するために着底基質の設置(投石、コンクリートブロック等の設置)や餌料培養機能を備えた構造物の設置などを行っています。</p>		
(主な活動内容)	<p>種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携 その他(着底基質(石材)の沈設)</p>		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施年度:平成25年度～平成26年度 ・対象漁業種類:釣り、刺網 ・対象魚種:カサゴ、メバル ・造成面積:平成25年度 8,370 m²、平成26年度 6,630 m² <p>※写真: H26年度の投石で使用した石材</p>		
			

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年～30年) 参照

関連する生物種等	は希少種
<p>○野鳥: 未調査 ○藻場の生き物: メバル、カサゴ ○海藻(海草): 未調査 ○植物: 未調査</p>	
希少種の特徴等	
希少種は存在しない	